

～ 2026年3月期 第2四半期～

決 算 説 明 資 料

「経営改革を通じた収益力・企業価値の向上」

三井住建道路株式会社

目 次



1. 決 算 概 要



2. 決 算 詳 細 説 明



3. 業 績 予 想



4. そ の 他

1. 決算概要

事業環境及び当社の状況について

建設事業

公共工事	インフラ老朽化対策や国土強靭化の推進等で継続的な発注があり堅調に推移
民間工事	民間設備投資は好調な企業収益等を背景に持ち直しの動きが継続
当社の状況	建設資材価格の高止まりや労務需給の逼迫などにより工事原価の上昇が続く

製造・販売事業

出荷・売上	<ul style="list-style-type: none">原材料価格の変動、エネルギーコスト・運送コストの上昇により製造コストは高水準で推移製造コストに見合った販売価格への転嫁取り組みを維持
-------	---

決算のポイント

■ 連結売上高 13,584百万円 (前期比 +7.8%)

- ：建設事業は民間大型工事等の出来高進捗が順調であり、前年比で増加、製造・販売事業では概ね横ばいとなり、前期比「增收」

■ 連結営業損失 90百万円

- ：建設事業は完工工事高の増加および利益率改善により増加、製造・販売事業では販売価格への転嫁は進んだものの十分な反映に至らず、前期比「営業損失減少」

■ 受注高（個別） 16,947百万円 (前期比 +12.7%)

- ：建設事業では官庁・民間工事ともに需要は堅調であり、前期比増加、製造・販売事業は出荷・売上ともに概ね横ばいとなり、受注高合計は前期比「増加」

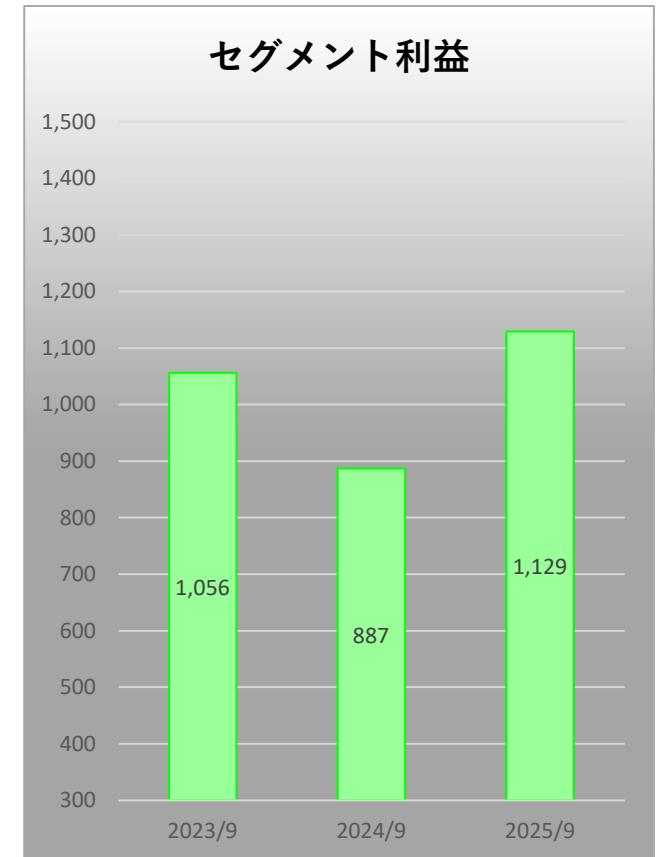
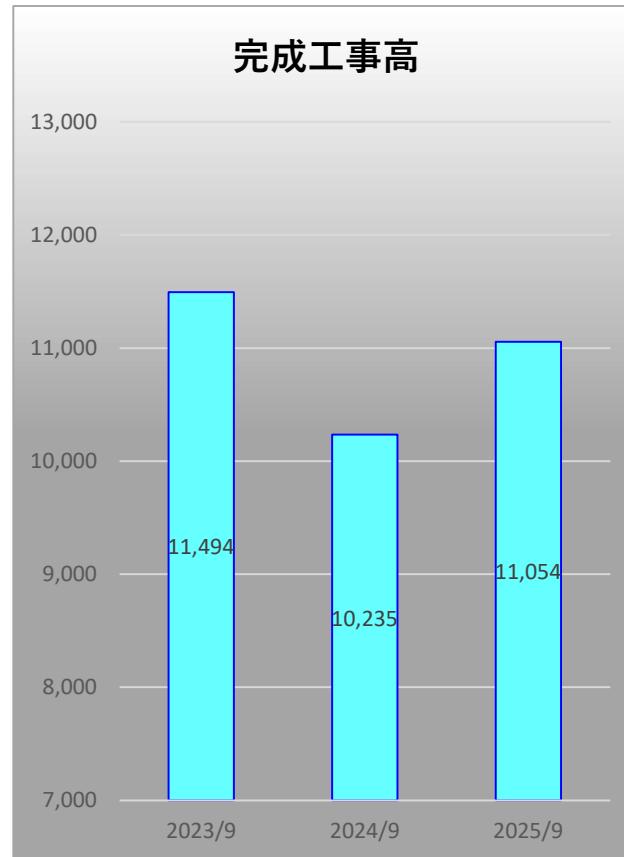
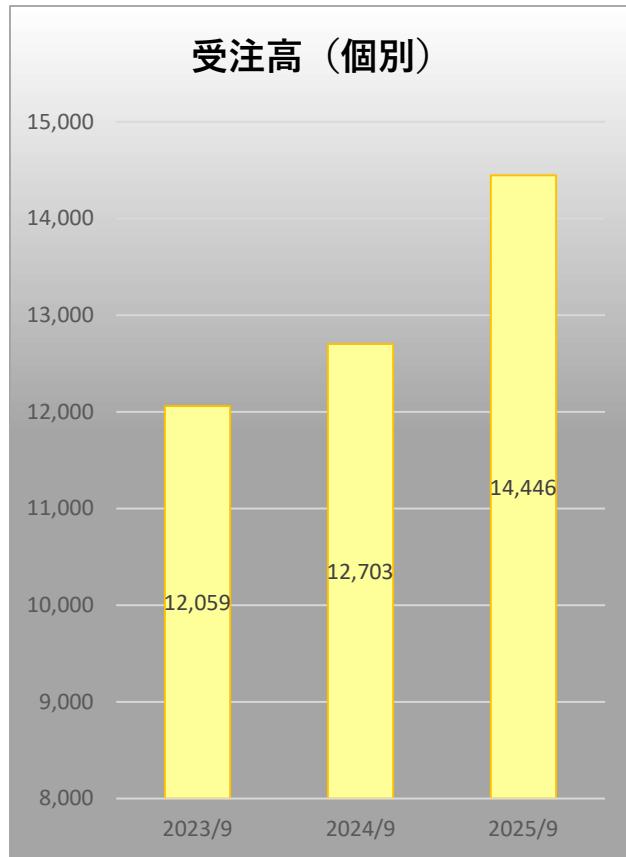
決算概要

単位：百万円	前年度実績 (2024/9期)	2026/3期 第2四半期			
		実 績	前期比	2025/5 短信 通期業績予想	達成率
連結売上高	12,601	13,584	7.8%	30,450	44.6%
連結営業損益	△ 266	△ 90	—	710	—
連結経常損益	△ 229	△ 74	—	710	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 188	△ 87	—	420	—
受注高 (個別)	15,041	16,947	12.7%	30,180	56.2%

2. 決算詳細説明

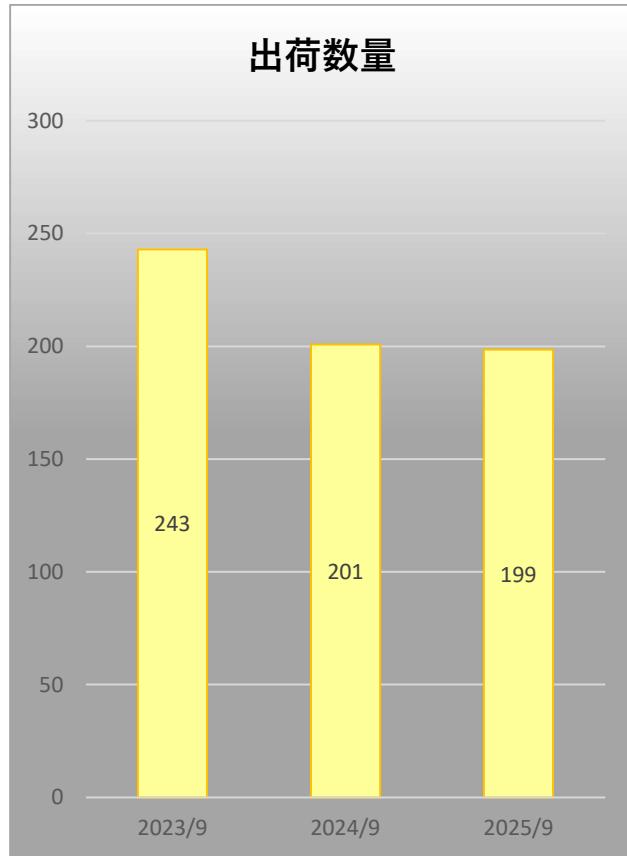
セグメント別の業績推移 【建設事業】

〔単位：百万円〕

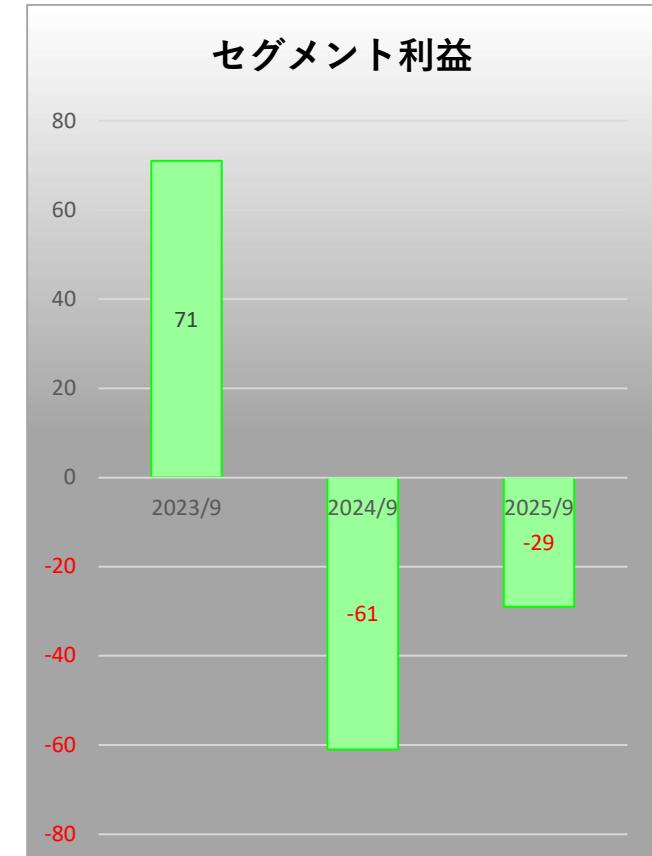
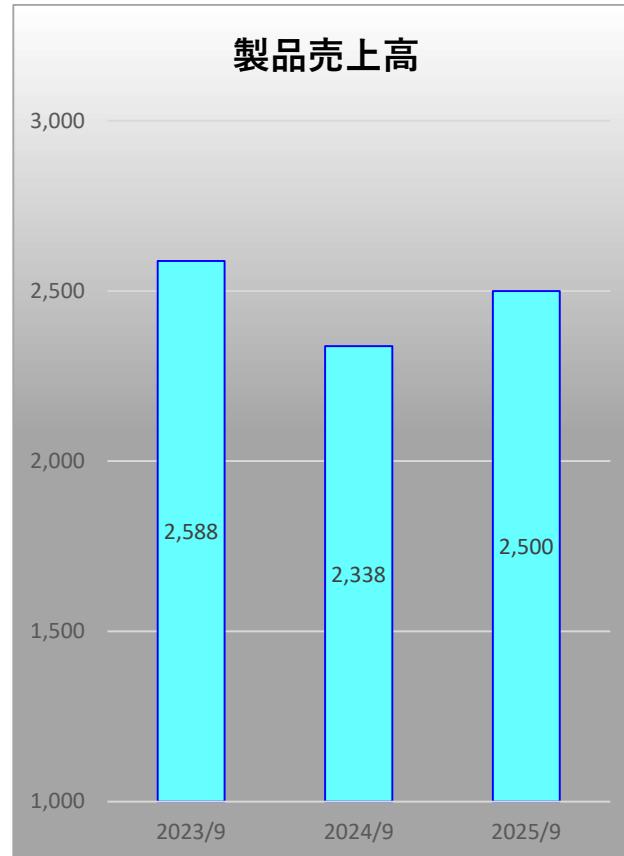


セグメント別の業績推移 【製造・販売事業】

〔単位：千t〕



〔単位：百万円〕



連 結 貸 借 対 照 表

単位：百万円

	2024/9末 ①	2025/9末 ②	前期比較 ②-①	備 考
流動資産	15,216	15,684	468	現預金の減少 +376 受取手形の減少 △317 完成工事未収入金の増加 +807
固定資産	7,222	7,012	△ 209	減価償却費、資産の除却により減少
資産合計	22,438	22,696	258	
流動負債	7,292	7,713	421	工事未払金等の増加 +265 未払金の増加 +140 未成工事受入金の減少 △97
固定負債	2,037	1,870	△ 167	退職給付に係る負債の減少 △148
負債合計	9,329	9,584	254	
純資産	13,108	13,112	3	
自己資本比率 (%)	58.4	57.8	△ 0.6	
負債純資産合計	22,438	22,696	258	

連結キャッシュフロー

単位：百万円

	① 2024/9末	② 2025/9末	前期比較②－①
現金同等物期首残高	11,178	7,027	△ 4,150
営業活動によるCF	△ 3,358	1,000	4,359
投資活動によるCF	△ 343	△ 177	165
財務活動によるCF	△ 386	△ 385	1
現金同等物期末残高	7,088	7,465	376

【営業活動CF】 • 売上債権の減少等により資金増加

【投資活動CF】 • システムの入替えに伴い減少

【財務活動CF】 • 配当金の支払いにより減少

3. 業績予想

2026年3月期業績予想

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
連 結	30,450	710	420	45.64
個 別	30,000	700	410	45.56

株 主 還 元

	配当金
2026年3月期（予想）	1株当たり 50円

4. そ の 他

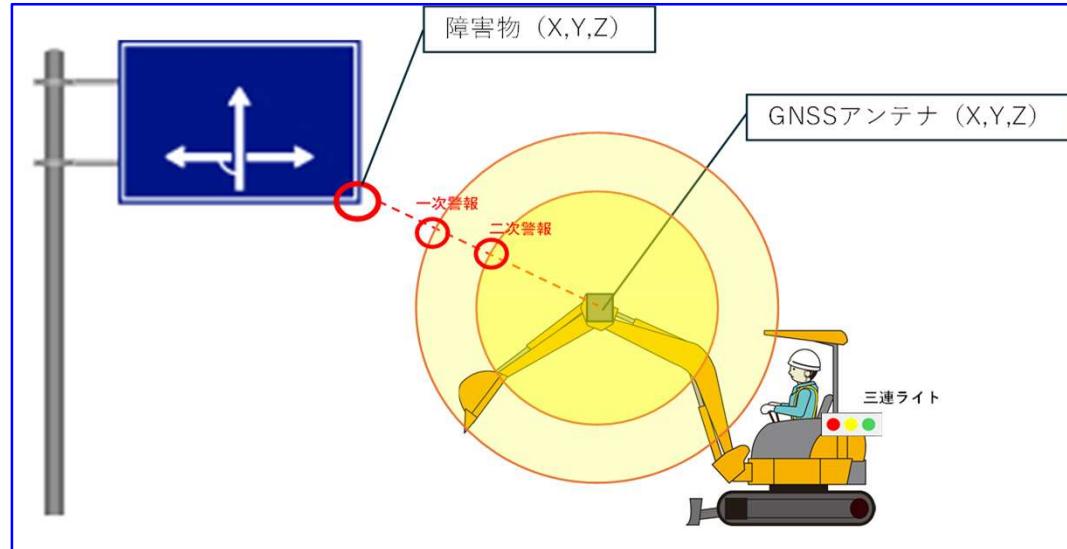
TOPICS

～ BIM/CIMデータを用いた道路占有物件への接触防止システム ～

システムの特徴

起工測量で得た3D点群データから事前に注意箇所の座標3点を抽出して矩形を形成し、注意箇所の周囲に危険領域を展開させる。

作業用の重機にGNSS（衛星測位システム）を用いて位置情報をリアルタイムに受信するアンテナを取り付け、設定した危険領域に作業重機が侵入すると、重機オペレーターや周囲の作業員に3連パトライトとブザーで接近を知らせて、公共物への接触を防止する。



開発の経緯

道路等の工事において、安全対策を講じていても、重機を利用しての施工時にはヒューマンエラー、誤認などにより公共物破損の危険性がある。当社はリスクを最小限に抑制するために、BIM/CIMデータを活用した本システムを開発しました。本システムはICTによる維持修繕工事、電線共同溝工事などのさらなる安全性向上を目的に開発され、国土交通省発注の当社工事にて運用を予定しています。

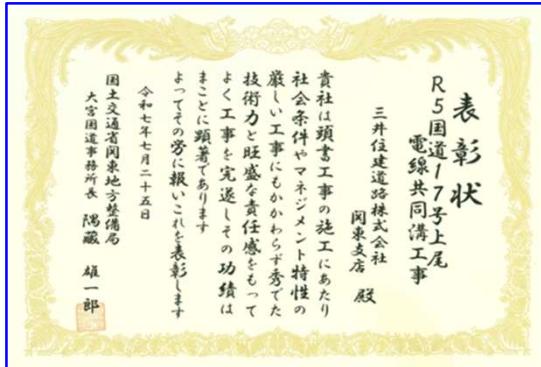
TOPICS

～各種表彰受賞～

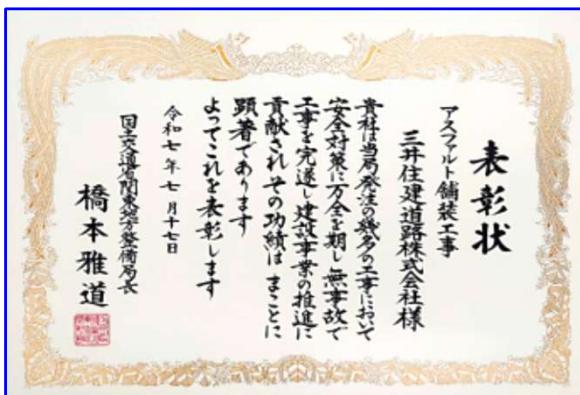
表彰者：国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所 様

表彰内容：工事表彰

対象工事：R5国道17号上尾電線共同溝工事



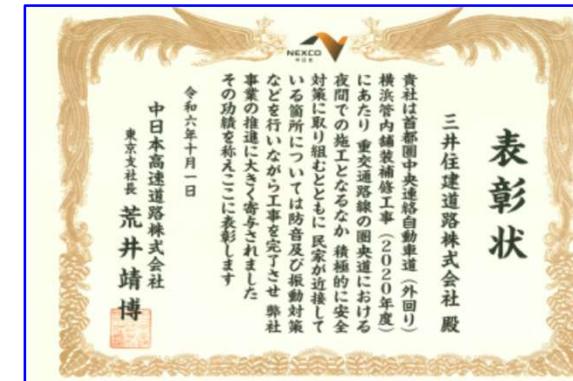
表彰者：国土交通省 関東地方整備局 様
表彰内容：安全表彰



表彰者：中日本高速道路株式会社
東京支社 様

表彰内容：工事表彰

対象工事：圏央道(外回り)横浜管内舗装補修工事



表彰者：東日本高速道路株式会社
関東支社 所沢管理事務所 様
表彰内容：緊急対応表彰



TOPICS

～ パトロール風景、女性活躍推進 ～

安全パトロール

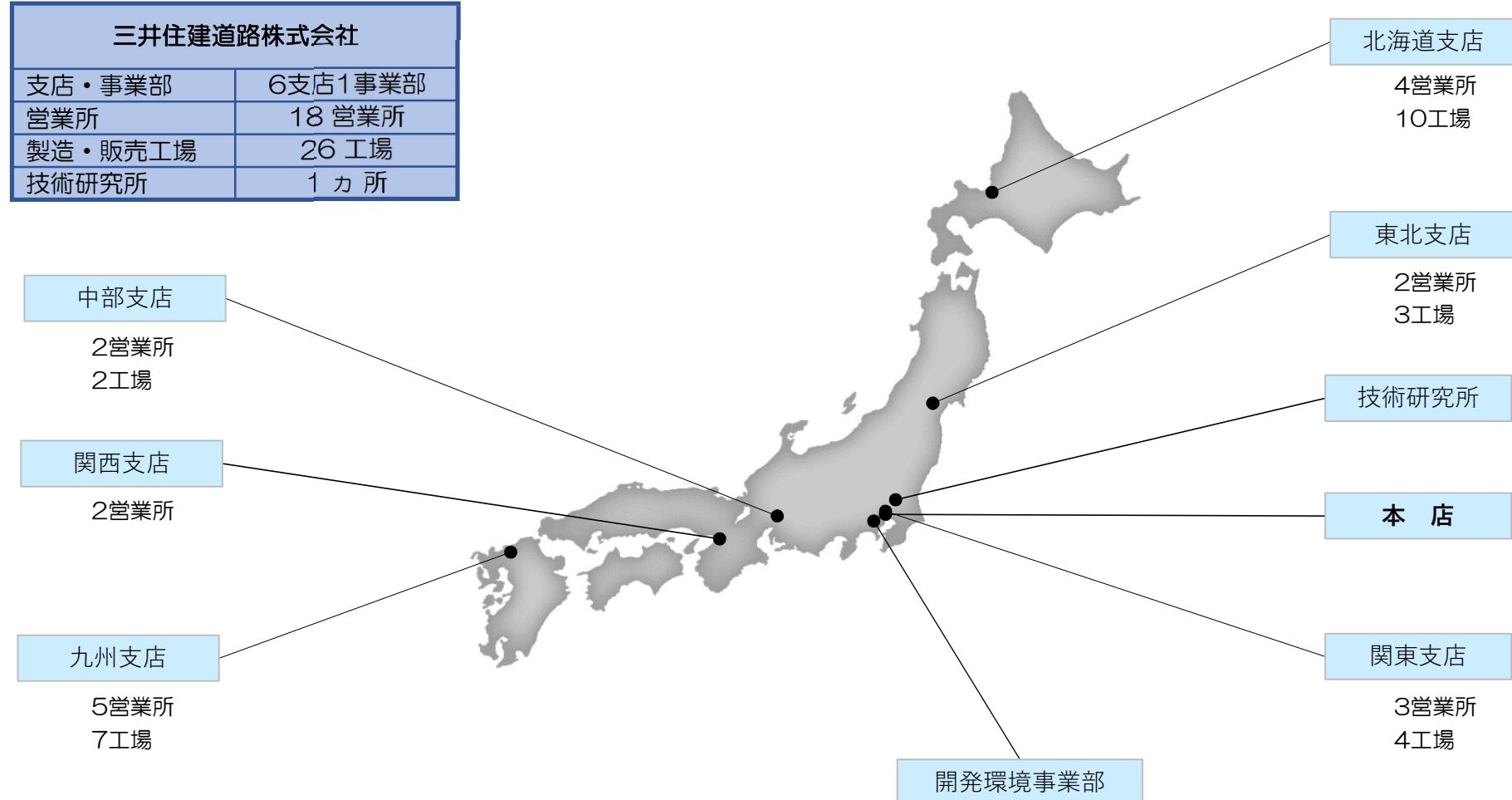


衛生パトロール



【2025年9月30日 現在】

事業拠点位置図



お問合せ先
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目24番1号
西新宿三井ビル
三井住建道路株式会社 管理本部
電 話：03-6258-1563
FAX：03-6258-1567

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれております。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざま重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。